



駐屯地に響く歓声、はじける笑顔 8/23
那賀川夏まつりで隊員と交流

陸上自衛隊徳島駐屯地で「第31回那賀川夏まつり」が開催されました。会場では、子供向けプールが開設されたほか、水鉄砲大会など多彩なフィールドゲームが繰り広げられ、遊び足りない子どもたちの歓声が響きました。水鉄砲大会で優勝したチーム「フクズミベーカーリー」の福住侑世さん(12歳・那賀川町)は、「昨年のリベンジを果たせてうれしい」と笑顔がはじけていました。

8/27 男性の介護への参加を促す

男性を対象とした介護職員初任者研修が男女共同参画室分室であり、市内在住の男性13人が受講しました。この研修は、「日本女性会議〈男女共同参画〉2013あなん」の継承事業として、「わくわく男女共同参画あなん2013協議会」が企画したもので、介助者不足を背景に男性の介護参加を促進しようと初めて開催されました。研修は12月13日までの間、全43回131時間行われます。



去りゆく夏の思い出をつくる 8/30
宝田花火大会

宝田青年会による「第6回宝田花火大会」が宝田公民館周辺の田園地帯で行われました。宝田花火大会といえば「音楽花火」。ディズニーアニメ映画『アナと雪の女王』に使用された「Let It Go」などの楽曲に合わせて、およそ3,000発の花火が打ち上げられました。ほかにも女性たちによるもち投げなどユニークな催しもあり、訪れた人々は、去りゆく夏の思い出づくりを楽しんでいました。



徳島県議会県土整備委員会調査団に説明する岩浅市長

政府調査団が加茂谷地区を視察 8/12
復興支援と早期築堤を強く要望

内閣府や県議会の調査団が加茂谷地区を訪れ、台風11号による被害状況を確認しました。岩浅市長は西村康稔内閣府副大臣に浸水時の写真を示して被害の概況を説明した上で、那賀川本川無堤地区解消等を訴える要望書を手渡しました。加茂町委員長の町田治幸さん(76歳)は、「災害ごみは撤去されても生活や農業再建はこれから。早急に対策を講じてほしい」と話していました。

9/7 25人が救命救急の知識深める

9月9日の「救急の日」を前に、心肺蘇生法などを学ぶ上級救命講習が消防本部で行われ、25人が救命救急の知識を深めました。参加者は、救急隊員から自動体外式除細動器(AED)の使い方や注意点などを学びました。濱寄優貴さん(21歳・向原町)は、「いつ病気やけがに遭遇するかわかりません。こうした講習を受けておくことで人命救助の一助になります」と話していました。



8/18 武蔵野大学生100人が
加茂谷で農業体験ボランティア

東京・武蔵野大学生による農業体験ボランティアが8月18日から1カ月間、加茂谷地域で行われました。大学が進めるキャリアデザインの一環で、1年生100人が8班に分かれて5日間滞在し、受入れ農家で災害ごみの撤去やすだちなどの収穫を手伝いました。地元代表の山下和久さん(細野町)は、「学生たちの活動力は予想以上で、気持ちがこもっていました。この経験が人生の糧になることを願っています」と話していました。

